

平成25年 第12回京丹後市教育委員会会議録

- 1 開催年月日 平成25年8月6日(火)  
開会 午後4時00分 閉会 午後4時40分
- 2 場 所 大宮庁舎4階 第5会議室
- 3 出席委員名 小松慶三、文珠清道、森益美、野木三司、米田敦弘
- 4 欠席委員名 なし
- 5 説明者 教育次長 吉岡喜代和、教育理事 竹本 茂、教育総務課長 藤村信行、  
学校教育課長 山根直樹、子ども未来課長 中村八寿子、  
社会教育課長補佐 吉田茂夫、文化財保護課長 吉田誠、  
総括指導主事 後藤幸雄
- 6 書 記 教育総務課長補佐 坪倉武広
- 7 議 事
  - (1) 議案第64号 橘至誠館開設45周年記念大会の開催に係る共催について
  - (2) 議案第65号 丹後国建国1300年事業シンポジウム「旦波国の氏族と伝承」の開催に係る後援について

【追加議案】議案第66号・67号

  - (3) 議案第66号 京都府中学校教育研究会道德教育研究大会の開催に係る後援について
  - (4) 議案第67号 KITわくわくキャンパスフェスタ in 京丹後の開催に係る共催について
  - (5) 報告第19号 財団法人京都府丹後文化事業団の経営状況について
- 8 その他 諸報告
- 9 会議録 別添のとおり(全8頁)

10 会議録署名

別添の会議録は書記が記載したものであり、別添記載の正確であることを認めここに署名する。

平成25年8月21日

委員長 小松 慶三

署名委員 文珠 清道

〔招集者〕 京丹後市教育委員会委員長 小松慶三

〔被招集者〕 文珠清道、森益美、野木三司、米田敦弘

〔説明者〕 教育次長 吉岡喜代和、教育理事 竹本 茂、教育総務課長 藤村信行、  
学校教育課長 山根直樹、子ども未来課長 中村八寿子、  
社会教育課長補佐 吉田茂夫、文化財保護課長 吉田誠  
総括指導主事 後藤幸雄

〔書 記〕 教育総務課長補佐 坪倉武広

#### 〈小松委員長〉

ただ今から「平成25年 第12回京丹後市教育委員会定例会」を開会させていただきます。本当に暑い中でございます。ご苦労さまでございます。

教育委員並びに教育長で管内の施設研修、先ほどまでさせていただきました。久美浜中学校、そしてウッディいさなご、いさなご工房の見学をさせていただきました。久美浜中学校につきましては、中学校の再配置の先頭を走っていただいている学校ということでございまして、そうした中、施設の状況、新たな状況等もしっかりと見せていただき、また、バス通学が75%を超えていることによるご苦労話と、現場におけるいろいろな状況をご説明いただき、ほんとうに有意義な視察であったなと思っております。また、子どもたちがそうした中で、新たな自分たちの学校を作り上げていくんだという意識をしっかりと持っていていただくことに対し、本当に心から嬉しく思ったところでございます。また、ウッディいさなご、いさなご工房もいろいろな方が利用していただいている状況も確認させていただきました。今後とも、ウッディいさなご、いさなご工房の利用がより一層多くなりますこと、また久美浜中学校がより一層すばらしい学校になってくれることを祈念しているところでございます。

特に委員長の報告という部分ではございません。7月19日には、議会の臨時会がございまして、議会に出させていただきます。本日午前中、全員協議会があって、Xバンドレーダーの件でございますけれども、所用によりまして欠席させていただいたところでございます。

それでは次に米田教育長から、第11回教育委員会定例会開催後の諸会議、行事等を中心にして、教育長報告をお願いいたします。

#### 〈米田教育長〉

それではみなさん、ご苦労さまです。本日の視察研修ご苦労さまでした。7月下旬から天候が非常に不順でして、警報が立て続けに3回も出るということがございました。大雨洪水警報です。学校とか社会教育関係施設のほうでの被害というのはありませんでした。今、委員長が言われましたけれども、前回の教育委員会議で小松委員長を互選によって選出しました。その前に森委員の継続、その以前に文珠委員の職務代理ということで、メン

バーこそ変わりませんが新しい体制でスタートをしたということになります。教育委員会制度がどうか、教育委員会もいろいろと取り上げられているところがございますけれども、私ども5人の委員と事務局が力を合わせて、今の制度のどこが悪いかというのを示すような、今日、動く教育委員会だという言葉が確かありましたけれども、自信を持って世間に投げかけられるようなお互い切磋琢磨した取り組みをしていきたいと思えます。暑い夏ですけれども皆さんと力を合わせて乗り切りたいと思えます。

動静のほうは、プリントを見ながら聞いていただけたらと思えます。

#### 【動静表を朗読、説明】

〈小松委員長〉

ただ今の教育長報告につきまして、ご質問等ございましたらお願いいたします。  
ございませんか。

それでは次に会議録の承認を行います。第11回の署名委員は野木委員でございます。会議録については、すでにお手元に送付しておりますが、原案のとおり承認してよろしいでしょうか。

〈全委員〉

異議なし。

〈小松委員長〉

それでは、原案どおり承認いたします。

〈小松委員長〉

本日の会議録署名委員の指名をいたします。  
文珠委員を指名いたしますのでお願いいたします。

〈小松委員長〉

それでは、お手元の会議次第にそって議事を進めさせていただきます。  
議案第64号「橘至誠館開設45周年記念大会の開催に係る共催について」を議題といたします。  
米田教育長から提案理由の説明をお願いします。

〈米田教育長〉

教育次長の方から提案します。

〈吉岡教育次長〉

議案第64号「橘至誠館開設45周年記念大会の開催に係る共催について」説明をさせていただきます。

この事業は、橘至誠館が昭和44年に開設され、剣道を通じて、「明るく、正しく、強く、やさしく、自主的な子供」の育成を指導方針として活動を続け、45年の節目の年を迎えるにあたり、大会として開催されるものです。

大会は、青少年の健全育成及び剣道の普及発展及び地域間交流による地域の元気づくりに寄与することを目的に実施されるものであり、市内外30の剣道教室が参加されるようであり、教室と保護者会が実行委員会を組織し主催するという形になっております。教室につきましては、網野町ジュニアスポーツ協会の加盟団体であること、また、教育委員会に対し共催での協力依頼がありますが、運営及び会計等につきましては実行委員会が全て執り行うとのことであり、大会を盛り上げる等のこともあって、市及び教育委員会に対し依頼があったのと、来賓として出席を依頼したいとのございます。

主催は、橘至誠館開設45周年記念大会実行委員会、会場は橘中学校体育館、期日は平成25年10月6日、申請者は同委員会会長 森安哲也氏と、同教室の館長 奥田薫氏となっています。

以上、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

<小松委員長>

議案第64号をご説明いただきました。

ご質問、ご意見等がございましたらお願いいたします。

<小松委員長>

何かございませんでしょうか。

それではお諮りを致します。議案第64号「橘至誠館開設45周年記念大会の開催に係る共催について」につきまして、承認にご異議ございませんでしょうか。

<全委員>

異議なし。

<小松委員長>

異議なしと認め、承認と致します。

続いて議案第65号「丹後国建国1300年事業シンポジウム「旦波国の氏族と伝承」の開催に係る後援について」を議題といたします。

米田教育長から提案理由の説明をお願いします。

<米田教育長>

これにつきましても、教育次長の方から提案します。

<吉岡教育次長>

議案第65号「丹後国建国1300年事業シンポジウム「旦波国の氏族と伝承」の開催に係る後援について」説明をさせていただきます。

この事業は、丹後国建国1300年を記念し、「旦波国の氏族と伝承」をテーマにシンポジウムを実施し、古代丹後に関する府及び市民の関心を高めることを目的に実施されるものです。

主催は、丹波の文化を伝承する会、会場は峰山総合福祉センター、期日は平成25年11月10日、申請者は同会の会長 藤村裕孝氏と、丹後国1300年事業実行委員会会長 山本学氏の連名となっています。

以上、ご審議よろしくお願ひいたします。

〈小松委員長〉

議案第65号をご説明いただきました。

ご質問、ご意見等がございましたらお願ひいたします。

〈小松委員長〉

何かございませんでしょうか。

それではお諮りを致します。議案第65号「丹後国建国1300年事業シンポジウム「旦波国の氏族と伝承」の開催に係る後援について」につきまして、承認にご異議ございませんでしょうか。

〈全委員〉

異議なし。

〈小松委員長〉

異議なしと認め、承認と致します。

それでは、引き続きまして追加議案ということで議案が2件ございます。

議案第66号「京都府中学校教育研究会道德教育研究大会の開催に係る後援について」を議題と致します。

米田教育長から提案理由の説明をお願いします。

〈米田教育長〉

教育次長の方から提案します。

〈吉岡教育次長〉

議案第66号「京都府中学校教育研究会道德教育研究大会の開催に係る後援について」説明をさせていただきます。

この事業は、平成25年度京都府中学校教育研究会道德教育研究大会が、「新しい自分に出会う道德の時間」～指導体制の工夫と魅力ある授業づくり～をテーマに、弥栄中学校を主会場として実施されるにあたり、後援申請があったものです。

内容は、公開授業、分散会、研究発表、講演などとなっています。

主催は、京都府中学校教育研究会と弥栄中学校、会場は弥栄中学校と弥栄地域公民館、期日は平成25年11月8日、申請者は京都府中学校教育研究会会長 友松勝之氏と、同研究会道德教育研究部部会長 森岡康彰氏の連名となっています。

以上、ご審議よろしくお願ひいたします。

〈小松委員長〉

議案第66号をご説明いただきました。

ご質問、ご意見がございましたらお願ひします。

〈小松委員長〉

ございませんでしょうか。

それではお諮りを致します。

議案第66号「京都府中学校教育研究会道德教育研究大会の開催に係る後援について」につきまして、承認にご異議ございませんでしょうか。

〈全委員〉

異議なし。

〈小松委員長〉

異議なしと認め、承認と致します。

続いて、議案第67号「KITわくわくキャンパスフェスタ in 京丹後の開催に係る共催について」を議題と致します。

米田教育長から提案理由の説明をお願いいたします。

〈米田教育長〉

これにつきましても、教育次長の方から提案します。

〈吉岡教育次長〉

議案第67号「KITわくわくキャンパスフェスタ in 京丹後の開催に係る共催について」説明をさせていただきます。

この事業は、京都工芸繊維大学が本市との連携事業と、京都府との包括協定に基づくCOC事業の一環として、市内で実施するイベント等の共催申請があったものです。

事業内容につきましては添付のチラシの通りですが、理科わくわく教室、夏休みこども勉強会、事業経営・技術相談会のほか、展示等の事業が行われるものです。

主催は京都工芸繊維大学、共催は京都府、京丹後市と教育委員会が予定です。会場は京都工芸繊維大学京丹後キャンパスと峰山地域公民館、期日は平成25年8月19日と20日、申請者は京都工芸繊維大学研究推進課産学連携推進室長 堀江尚 氏となっています。

以上、ご審議よろしくをお願いいたします。

事業名の「KIT」は、京都工芸繊維大学の略称のようです。それから、COCにつきましては、国が実施しております地域の「地」と知識の「知」が兼ねてあるような形になっていまして、その拠点整備事業ということになっています。center of community（センター・オブ・コミュニティ）の略称だそうです。以上でございます。

〈小松委員長〉

議案第67号をご説明いただきました。

ご質問、ご意見等がございましたらお願いします。

〈森委員〉

もう夏休みに入っているんですけれども、8月19日、20日ということで、子どもたちには学校を通じて知らされるのでしょうか。

<吉田社会教育課課長補佐>

夏休み前に募集をかけています。

<吉岡教育次長>

委員長すみません。

<吉岡教育次長>

訂正をさせていただきます。議案第67号の表紙の部分が、「開催に係る後援」そして内容も「後援」となっていますが、申請は「共催」ですので、私の説明は「共催」とさせていただきますので、訂正をお願いします。

<小松委員長>

このKITわくわくフェスタ、パンフレットを見ておられますと、もう共催として謳われているようでございますが、それについての経過を少しご説明いただければと思います。

<吉岡教育次長>

すみません。先ほどの質問にも関連するんですが、ちょっと訂正をさせていただいてお詫び申し上げ、改めてご承認をいただきたいというように思います。

京都工芸繊維大学につきましては、京都府や京丹後市がいろんな事業で連携協定を結んでおりまして、その取り組みの中の事業の一環としてやられるものですので、工芸繊維大学が京丹後市の子どもたちにこういう事業をする場合は、ほとんどが共催事業として取扱いをさせていただいております。今回のチラシや事業の取り組みについても、その形でやられるということになっておりましたので、事前に共催の形を進めるような形の処理をしておりましたが、本来でしたら教育委員会のほうに協議をさせていただいて議決後にさせていただくのが正しいと思いますので、今回は大変申し訳なかったと思います。事後承諾みたいな形になるとは思いますが、その旨でよろしくお願ひしたいと思ひます。

<小松委員長>

わかりました。それではお諮りを致します。

議案第67号「KITわくわくキャンパスフェスタ in 京丹後の開催に係る共催について」につきまして、承認にご異議ございませんでしょうか。

<全委員>

異議なし。

<小松委員長>

異議なしと認め、承認と致します。

それでは、次に報告議案が1件ございます。報告第19号「財団法人京都府丹後文化事業団の経営状況について」を議題と致します。

米田教育長から説明をお願いします。

<米田教育長>

これにつきましても、教育次長の方から説明します。

<吉岡教育次長>

報告第19号「財団法人京都府丹後文化事業団の経営状況について」説明させていただきます。お手元に、平成24年度財団法人京都府丹後文化事業団事業報告書・決算書等がありますが、これにつきましては、平成25年3月19日付で文化事業団が公益財団法人となりましたが、京都府丹後文化事業団の平成25年度の事業計画書・予算書と同時に24年度の決算書等についても承認いただかなければならないことになっておりますので、今回報告させていただきます。これにつきましては、地方自治法第243条の3第2項の規定により、市が資本金等の2分の1以上出資している法人については、毎事業年度、経営状況を説明する書類を作成し、議会に提出しなければならないこととなっております、9月議会のほうに報告させていただく予定にしておりますので、事前に教育委員会に報告させていただくものです。例年のとおりでございます。

24年度の実施事業については、報告書の1ページに記載しているとおりです。8ページに収支決算書がございますが、24年度の決算状況は6,025,216円の次期繰越金となっております。前年度の繰越金が6,251,991円でしたので、若干、減少しています。単年度収支では、会館稼働率の向上、経常経費の削減を図る経営努力等を行っているものの約22万円の赤字決算となっております。市からの補助金を受けて運営を行っているものですが、引き続き厳しい財政状況となっております。丹後文化会館の性格上、丹後地域の文化振興のための拠点として運営等にはたいへん頑張らせていただいておりますが、なかなか厳しい状況であり、引き続き市民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、事業等を盛り上げていく必要があると考えています。

また、先ほど申し上げました通りこの4月から公益財団法人となり、役員体制も大幅に変わっております。従来から課題になっていました文化事業団が本市の文化のまちづくりの中心的な役割を担っていくことを目指してほしいと思っております、今後、体制や事業の見直し等を行う中で、運営等についても支援をしていきたいと考えています。

<小松委員長>

報告第19号をご説明いただきました。

ご質問等がございましたらお願いいたします。

<小松委員長>

ございませんか。

<小松委員長>

それでは、以上をもちまして本日の議事はすべて終了いたしました。

続いて5のその他ということで、諸報告、各課報告を順次お願いしたいと思います。

(1) 諸報告

<教育次長>

① 「共催」・「後援」に係る7月期承認について

(2) 各課報告

〈学校教育課〉

- ① 8月学校行事予定について

〈社会教育課〉

- ① 第48回人権教育研究京丹後市大会について

〈文化財保護課〉

- ① 企画展示 1300年前の丹後～丹後国ができあがったころ～について  
② 丹後王国・埴輪政策プロジェクトについて  
③ 第3回郷土偉人展・上前智祐特別展『Chiyu Uemae 最初の始まり』  
「上前智祐・さとかえりてん」について

〈小松委員長〉

全体を通しまして、何かご質問等ございませんでしょうか。

〈小松委員長〉

ございませんか。

〈小松委員長〉

それでは、以上をもちまして第12回京丹後市教育委員会定例会を閉会致します。ご苦  
労様でございました。

〈 閉会 午後4時40分 〉

[ 9月定例会 平成25年 9月 4日(水) 午後3時から ]